



医療法人 康仁会

西の京病院

下肢静脈瘤に特化し、新しいレーザー！ 高周波治療からストリッピング手術まで、 患者の疾患に適した治療を提供

近鉄橿原線西ノ京駅から徒歩10分の場所にある医療法人康仁会西の京病院・血管外科では、5年ほど前から下肢静脈瘤に特化した治療に取り組み、ストリッピング手術やレーザー治療などを含む下肢静脈瘤の手術で年間475件、平成26年1月～12月の実績をあげている。血管外科の今井崇裕センター長に話をうかがった。

症状に合わせ 多様な治療が可能

「下肢静脈瘤というとは、血管が青く浮き出るとか瘤状になるといのがよく知られていますが、実は、そうした見た目だけではわからないことも多いのです。ですから、まずエコー検査で血管の状態がどうなっているのかを詳しく調べて、進行の度合いを的確に判断することが大切です。また、客観的データだけでなく、当院では、患者さん自身がどんな症状に悩んでいるか、独自のチェックシートを作成して、一人ひとりの患者さんが満足できる結果が得られるよう

うな治療法を選択しています」と今井センター長は語る。

下肢静脈瘤のおもな治療法としては、弾性ストッキングで脚を圧迫する圧迫療法、注射で血管を固めてしまう硬化療法、レーザーや高周波で血管を焼灼して閉塞させる血管内焼灼術、静脈瘤の原因となっている血管を抜去してしまうストリッピング手術などがあるが、同院ではこれらすべての治療法を受けることができる。とくに、侵襲の少ないレーザー治療や高周波治療が受けられる施設は数が限られているため、三重や和歌山など県外からの来院者も多い。

「いずれの治療もおおよそ30分

ほどで終了します

ので日帰りですが、ご希望があれば入院治療にも対応しています。

下肢静脈瘤は女性に多く、妊娠・出産を機に発症するなど、若年の

方にもよくみられます。放置しておくとも進行も早いことから、一度専門医に相談することをお勧めします。」と今井センター長。

病気とその予防法や治療法について広く知ってもらうため、今井センター長をはじめ日本静脈学会が認定する資格をもったスタッフらは年に2回ほど市民講演会を開くなど、啓発活動にも力を入れている。以上の情報は随時ホームページ上で

公開している。

さらなるレベルアップをめざして

現在でも患者数は年々ほぼ倍増の勢いとなっている（別表参照）が、2011年からレーザー治療や高周波治療が保険適用になったことから、今後はさらに患者数が増加することが予想される。

「すぐに命にかかわるという病気ではありませんが、あまり待たずに治療に入れるよう、従来は電話予約だったものをWEB予約が出来るようにする



▲主に下肢静脈瘤の手術をサポートするスタッフと治療を行うレーザー・高周波の手術の機器



▲今井センター長と外来患者の診療を行う医療チーム

「病気に悩んでいた患者さんが元気になって帰っていくのを見るのが一番の楽しみです。スタッフ一同、患者さんには明るく親切な対応を心がけています。ぜひ何でもご相談ください」と今井センター長。医療を通じて地域貢献を実現していきたいという。

とか、科内でパンフレットやリニカルパスを作成するなどして、効率良く診療がすすめられるように工夫しています。また、常に新しい治療が提供できるように海外の新技术の研鑽や学会活動にも力を入れてスタッフのレベルアップに努めています」と今井センター長。

西の京病院は、循環器内科や整形外科、リハビリテーション科を備えた総合病院で、平成16年には隣接地にPETがん総合検査センターや透視センターおよび歯科を擁するメディカルプラザ薬師西の京を開設。単独のクリニックと異なり、こうした総合

Hospital Data

症例数(2014年1月～12月)

全手術	475
下肢静脈瘤(血管内焼灼術)	280
下肢静脈瘤(ストリッピング術)	172
下肢静脈瘤(硬化療法など)	17
その他(動脈疾患など)	6



医療法人 康仁会
西の京病院

病院長 櫻井 隆久
所在地 〒630-8041
奈良県奈良市六条町102-1

TEL 0742-35-1121
URL <http://www.nishinokyo.or.jp>

診療科目 内科、循環器内科、外科、整形外科、
血管外科、麻酔科(院長登志)、腎臓
内科(人工透析)、全19診療科

交通 近鉄橿原線「西ノ京」下車、徒歩10分。
タクシーで4分、奈良交通バス停「西の京
病院」下車すぐ。